

集中豪雨・台風への日頃の備え

集中豪雨や台風の発生による被害を減らすためには、日頃からの備えが大切です！

災害時の連絡先 災害警戒(対策)本部 ☎ 872・2181

● 側溝、雨水ますなどの清掃

側溝や雨水ますの取水口にごみがたまると、雨が流れにくくなり、道路冠水や住宅への浸水が起こりやすくなります。地域ぐるみで清掃に取り組みましょう。

雨水ますにたまった泥や枯葉(左)と清掃活動の様子(右) ▶



● 豪雨時の注意

豪雨時は、下水道の排水処理能力が限界に達することがありますので、お風呂や洗濯など、家庭からの排水を控えるようご協力ください。

下水道管が短時間で満水状態になり、汚水が逆流し、汚水管にある空気が逃げ場を求めて、排水口がボコボコと鳴ったり、トイレから汚水があふれ出たりすることがあります。

排水逆流防止策

45ℓ程度のごみ袋を2枚重ねにし、その中に20ℓ程度の水を入れ、空気を抜いてしっかりしばります。それをトイレの便器の中、浴槽の排水溝などの上に置くと簡易的な排水逆流防止対策になります。

● 道路冠水時の注意

道路が冠水しているときは、マンホールや雨水ますのふたが浮き上がってずれたり、外れたりすることがありますので、十分に気を付けてください。

市では、ふたが外れない浮上防止ロック機能が付いたマンホールへの取り替えを、順次行っています。

☎ 下水道施設課 ☎ 871・1197



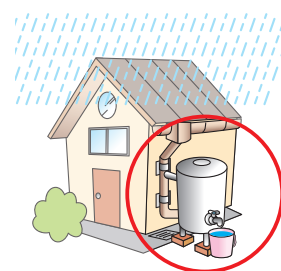
浮き上がってずれたマンホールのふた 浮上防止ロック機能付きマンホール

● 雨水貯留タンクの設置にご協力ください！

雨水貯留タンクは、大雨の時に雨水が下水道管へ流れ込むのを防ぐことができるので、洪水や浸水の防止になります。また、雨水はエネルギーを必要とせず、環境負荷の少ない資源です。植物への水やりや打ち水などに雨水を有効利用しましょう。

雨水貯留タンク設置補助制度

- 補助の対象 = 市内の戸建て住宅1戸につき1基(1回限り)
 - 雨水貯留タンクの基準 = ①容量が80ℓ以上であること②遮光性のある素材でできていること③ふたができること④安全に設置されていること⑤自宅の敷地内に設置し、樋に接続すること
 - 補助額 = 購入・設置に要した費用の2分の1(上限2万円、千円未満切り捨て)
 - 申請に必要なもの = 領収書(レシート)、設置後の写真
- ☎ 申し込みは先着順。購入前に必ずお問い合わせください
☎ 環境室 ☎ 870・4014



●●●●● 5月1日~8日 ●●●●●

露店は4年ぶり！ 130店舗以上が出店！

のざきまいり(野崎観音)

約300年の歴史があるのざきまいり。今年4年ぶりに露店が出店し、再開を待ち望んでいた多くの人でにぎわいました。市外からの訪問も多く、野崎観音の境内では参拝者で行列ができました。



▲久しぶりのにぎわいに「感慨深い」と語る人も



参拝者で
大行列！▶



▲多くの人でにぎわいました



市ホームページにも
掲載中！▶



◀暑いからみんなで
冷やしキュウリ！

▼まだまだ楽しむよ～



▲たくさん遊べて楽しいね



▲顔より大きい綿菓子！
甘くておいしいね！



取材：市民レポーター 木口屋遥

